

令和3年度事業報告書

令和3年4月1日～令和4年3月31日

特定非営利活動法人の名称	特定非営利活動法人 こんにちは・国際交流の会
--------------	------------------------

1. 事業の成果

私たちの会は、「日本語教育事業」「国際交流事業」「国際理解事業」を通して日本人・外国人の交流を進め、多文化共生のまちづくりに寄与しようと毎年計画し活動してきたが、令和3年度はコロナ禍での取り組みとなり、活動は変則的であった。なお、例年と同様に同じ目的をもつ他団体の事業に参加協力した。

各事業については、以下のとおり報告する。なお、営利事業は一切行わなかった。

2. 事業報告

定款第4条及び第5条の規程に基づいて、以下の事業を行った。

(1) 日本語教育事業

①日本語教室

外国籍区民を対象に年間3学期体制で日本語教室を開設し、金曜日・土曜日各5クラスを設営する予定であったが、コロナが収束せず、金曜日は春学期2クラス開設したものの秋学期・冬学期は中止した。土曜日は予定通り5クラス開設した。

<金曜日クラス>

- ・学期：春学期：令和3年5月7日～令和3年7月9日（初級B・中級B）
秋学期：中止
冬学期：中止
- ・時間：18:30～20:15
- ・場所：鶴見国際交流ラウンジ

<土曜日クラス>

- ・学期：春学期：令和3年5月8日～令和3年7月10日
秋学期：令和3年9月11日～令和3年11月13日
冬学期：令和4年1月15日～令和4年3月19日
- ・時間：10:00～11:45（初級A・初級B・中級A）
13:00～14:45（中級B）
18:00～19:45（読解B）
- ・場所：鶴見区福祉保健活動拠点
- ・内容：学習者数は、春学期33名（11か国）、秋学期20名（8か国）、冬学期28名（10か国）、年間の国別では、ベトナム27%、中国19%、イエメン14%となった。
- ・日本語ボランティアは、春学期26名、秋学期23名、冬学期24名が活動した。
- ・「クラスリーダー会」は各学期2回開催し、クラス別課題や学習者・ボランティアの動向等を共有すると共に、今後どのようにテキスト改訂に取り組むか検討した。
- ・初級Aテキスト改訂について「テキスト改訂委員会」を立ち上げ、秋学期か

ら新テキストを導入した。初級Bテキストについても検討を進め、冬学期から新テキストを導入した。

- ・初級Aテキスト改訂版の秋学期使用開始を前に、『日本語ボランティア勉強会』（8月8日(日))を開催し、新テキストの改訂主旨、新しい考え方・教え方について勉強した。(参加者22名)
- ・「日本語ボランティア入門講座」受講者5名の授業見学を受け入れた。
- ・「プライベートレッスン」は一時休止や休みがちのクラスもあったが、年度末には11組16名が継続していた。(ボランティア5名)
- ・本事業は、鶴見区社会福祉協議会の「鶴見区ふれあい助成金」を受けて実施した。

②日本語教育委託事業

本年度は、企業及び法人等からの委託はなかった。

(2) 国際交流事業

新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、すべて中止した。

(3) 国際理解事業

「国際理解講座」を開設した。

- ・日時：令和3年10月10日(日) 13:30~15:30
- ・場所：鶴見区福祉保健活動拠点 多目的研修室ABC
- ・内容：鶴見区民、会員を対象に、日本語教室のイエメン人学習者のご主人たちに、自国を紹介してもらった。コロナ禍にもかかわらず参加希望者が多かった。美しい街並みや自然、おいしそうなお料理の動画などが紹介された。参加者からは「イエメンは全く馴染みがなかったが、興味深く聞く事ができた」「内戦という悲しいイメージしかないイエメンとはかけ離れた豊かな文化を知ることができた」「イエメン出身の方々が意外に多く鶴見区に住んでいることに驚いた」「観光は無理でもネットで砂漠のマンハッタンやソコトラ島など見てみたい」「民族衣装が素晴らしかった」「日本語の流暢さにびっくり」などの感想があった。

本事業は「鶴見区社会福祉協議会区域連携推進事業」として実施した。

- ・参加者：50名(学習者4名、会員22名、一般24名)(外国人11名、日本人39名)

(4) 行政機関及び他団体との協働事業

①鶴見国際交流ラウンジの活動への参加

- ・鶴見国際交流ラウンジが一般公募する日本語部会に、日本語教室運営委員会委員長・副委員長が参加し、鶴見区内の他の日本語教室グループのメンバーと共に「日本語ボランティア入門講座」「日本語ボランティア・ブラッシュアップ講座」の企画運営に協力した。今年度はほとんどオンライン会議(Zoom)だった。
- ・「サルビア わんぱく★ランド」のパネル展(令和3年6月19日開催)に参加した。

②鶴見区社会福祉協議会の活動への参加

- ・地域福祉団体部会員として、理事1名がボランティア・市民活動団体分科会及び

同会が開催した講演会に参加した。

- ・「鶴見・あいねっと推進フォーラム」は中止となったが、会員2名が社会福祉功労者として感謝状をもらった。

③鶴見区災害ボランティアネットワークの活動への参加

- ・団体会員として、理事1名が運営委員会にオンラインで参加した。

④つるみ区民活動センターの活動への参加

- ・令和4年2月28日(月)～3月26日(土)、鶴見区内のボランティア団体を紹介する「鶴魅力パネル展」(つるみ区民活動センター)に参加した。